

大学番号：055

注3

[平成24年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

大阪大学大学院  
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学  
連合小児発達学研究所

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 大阪大学  
平成24年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部 総務課

職名・氏名 センモンシヨクイン 専門職員 ニヘイトモヒデ 二瓶智英

電話番号 06-6879-7015

（夜間） 06-6879-7015

F A X 06-6879-7008

e-mail nihei-t@office.osaka-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1～4
2	授業科目の概要	5～7
3	施設・設備の整備状況, 経費	8
4	既設大学等の状況	9～10
5	教員組織の状況	11～12
6	留意事項に対する履行状況等	13
7	その他全般的事項	14～15

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 大阪大学

## (2) 大学名 大阪大学

## (3) 大学の位置

〒565-0871  
大阪府吹田市山田丘2番2号  
〔 〒565-0871  
大阪府吹田市山田丘1番1号 〕

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
研究科長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学 研究科 小児発達学専攻(博士後期課程) (学位: 博士(小児発達学))	3年	15人	45人	基礎となる学部等

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	15人 ( ) [ ]	一人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	1.06倍	
志願者数	25 (12) [ ]	一人 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]					
受験者数	25 (12) [ ]	一人 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]					
合格者数	16 (9) [ ]	一人 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]					
B 入学者数	16 (9) [ ]	一人 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]					
入学定員超過率 B/A	1.06							

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 16	[ - ] -	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
2年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
3年次	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	
計	[ - ] 16		[ ]		[ ]		

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	16 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		%
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		%
合 計	16 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所  
小児発達学専攻（博士後期課程）>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	生命科学系科目	神経薬理学	1後		2		1					就任予定の教員が辞退したため (24)
		行動・情動神経科学	1後 1前		2		2	1		1		教員の都合により、配当学期を変更 (24)
		臨床遺伝・発達分子生物学	1後 1前	2	2			1				講義内容の充実のため、教員を追加 (24)
		生命倫理学	1前				1					
	神経社会環境学	1後		2			1			1		
	医療系科目	小児発達医学	1前		2		2	1	1	1		就任予定の教員辞退のため、教員を変更 (24)
		児童精神医学	1後 1前		2			2				学習効果の考慮により、配当学期を変更 (24)
		疫学統計学	1後 1前		2		1	1				講義内容の充実のため、教員を追加 (24)
		運動生体管理学	1後		2		1	1				
		機能画像解析学	1後		2		2	4	3	1		就任予定の教員の辞退及び講義内容の充実のため、教員を追加・変更 (24)
	社会・心理系科目	発達臨床心理学	1前		2			2			1	講義内容の充実のため、教員を追加 (24)
		小児発達評価・療育学	1後		2		1	2			1	就任予定の教員が辞退したため (24)
母子保健・教育福祉論		1前		2		1	1	1	1		就任予定の教員が辞退したため (24)	
認知行動療法学		1前		2		2	1			1	教授昇任のため (24)	
演習科目	生命科学系科目	分子生物学演習	2前・後		2		1	1				
		実験行動解析学演習	2前・後		2						1	
		認知行動生物学演習	2前・後		2		1	1				
		画像生物学演習	2前・後		2		2					
	医療系科目	高次脳機能学演習	2前・後		2		1	1				
		小児発達神経学演習	2前・後		2		1	1	1	1		
		疫学統計学演習	2前・後		2		1	1				
		画像生物学演習2	2前・後		2		1	1	1	1		
	社会・心理系科目	子育て支援学演習	2前・後		2			2				
		コミュニケーション支援学演習	2前・後		2		1				1	
高度専門科目	生命科学系科目	分子生物学特論	2~3通		12		2	1				
		認知行動生物学特論	2~3通		12		1	1			1	
		画像生物学特論	2~3通		12		2					
		神経人間社会環境学特論	2~3通		12			1			1	
		情動認知発達学特論	2~3通		12			1	1	1	1	
		認知行動脳科学特論	2~3通		12		1			1	1	
	医療系科目	高次脳機能学特論	2~3通		12		1	2				
		小児発達神経学特論	2~3通		12		1	1	1	1	1	
		疫学統計学特論	2~3通		12		1	1				
		高次脳機能損傷学特論	2~3通		12		1				1	
		協調運動障害学特論	2~3通		12		1	1				
		脳機能発達学特論	2~3通		12		2	1				
	社会・心理系科目	認知行動療法学特論	2~3通		12		1	1			1	
		子育て支援学特論	2~3通		12			2				
		コミュニケーション支援学特論	2~3通		12		1	1			1	
		社会支援学特論	2~3通		12			1				
		触法行為関連学特論	2~3通		12		1				1	
		発達環境支援学特論	2~3通		12		1	1	1	1	1	
メンタル支援学特論	2~3通		12		1			1	1			

(注) ・ 届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。

- ・ 届出時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成23年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお，昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 44	科目	科目 45	科目 1 [ 0 ]	科目 44 [ 0 ]	科目	科目 45 [ 0 ]	

(注) ・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[ ] 内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{0}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
	校舎敷地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	運動場用地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
	合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		
		m <sup>2</sup> ( m <sup>2</sup> )					
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
		室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		
		〇〇学部 〇〇学科			室		
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本
		[うち外国書]	[うち外国書]				
	冊	種	点	点	点		
	〇〇学部	( [ ] )	( [ ] )	( [ ] )	( )	( )	( )
計	( [ ] )	( [ ] )	( [ ] )	( )	( )	( )	
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
		m <sup>2</sup>					
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				
		m <sup>2</sup>					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
文学部 人文学科	4	165	—	660	学士(文学)	1.04	平成20年度	大阪府豊中市待兼山町1番5号
人間科学部 人間科学科	4	137	3年次 10	554	学士(人間科学)	1.02	平成20年度	大阪府吹田市山田丘1番2号
外国語学部 外国語学科	4	580	3年次 10	2,340	学士(言語・文化)	1.07	平成20年度	大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号
法学部 法学科 国際公共政策学科	4 4	170 80	3年次 10 —	700 320	学士(法学)	1.02 1.08	平成20年度	大阪府豊中市待兼山町1番6号
経済学部 経済・経営学科	4	220	3年次 10	900	学士(経済学)	1.09	平成20年度	大阪府豊中市待兼山町1番7号
理学部 数学科 物理学科 化学科 生物科学科	4 4 4 4	47 76 77 55	— — — —	188 304 308 220	学士(理学)	1.12 1.09 1.14 1.09	平成20年度	大阪府豊中市待兼山町1番1号
医学部 医学科 保健学科	6 4	100 160	3年次 10 20	625 680	学士(医学) 学士(看護学) 学士(保健衛生学)	1.04 1.10	平成20年度	大阪府吹田市山田丘2番2号 大阪府吹田市山田丘1番7号
歯学部 歯学科	6	53	—	356	学士(歯学)	1.00	平成20年度	大阪府吹田市山田丘1番8号
薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	25 55	— —	150 220	学士(薬学) 学士(薬科学)	1.00 1.03	平成20年度	大阪府吹田市山田丘1番6号
工学部 応用自然科学科 応用理工学科 電子情報工学科 環境・エネルギー工学科 地球総合工学科	4 4 4 4 4	217 248 162 75 118	— — — — —	868 992 648 300 472	学士(工学)	1.07 1.04 1.06 1.06 1.05	平成20年度	大阪府吹田市山田丘2番1号
基礎工学部 電子物理科学科 化学応用科学科 システム科学科 情報科学科	4 4 4 4	99 84 169 83	— — — —	396 336 676 332	学士(工学) 学士(理学)	1.02 1.07 1.07 1.00	平成20年度	大阪府豊中市待兼山町1番3号

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
- （専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。



(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

## 7 その他全般的事項

<大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所  
小児発達学専攻（博士後期課程）>

### (1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
/	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p>	/
---	---

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	( <input checked="" type="radio"/> 有      ・      無 )
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	( 平成 2 5 年      3 月      日 )